



第5回山梨がんフォーラム

～がんとお口はどんな関係？2011～

2009年口腔ケアの有無とがん治療の効果の差を明らかにするデータが学会で示されました。また、国も口腔ケアを重要な予防的医療行為と位置付け、保険制度の中に組み入れています。そこで口腔ケアとがん治療との関連を広く啓発するため、医師・歯科医師ばかりでなく看護・介護分野で仕事をするスタッフや、医療福祉の分野で活躍する学生をも対象とした講演会を企画しております。そこに、がん患者や家族、また、一般市民も参加することで、広く口腔ケアについての情報を浸透させていくキッカケにしたいと考えています。

この事業の大きなコンセプトは、医療従事者は、医師であろうと歯科医師であろうとまた、看護師、介護士であろうと、がん患者のためには強い連携をすることが必要であり、がん医療の主役は、患者や家族であるということを強く認識してもらうことです。さらに、地域の医療環境を支えることに、一般市民も加わることが必要であるという意識を広めていくこともコンセプトとしています。

未曾有の災害を経験しその復興に心血を注がなければいけない中ですが、日本人の死因のトップであるがん対策を停滞させるわけにはいきません。この状況でもがん治療に苦しむ患者は多いのが現状です。私たち『がんフォーラム山梨』は、気づいたものが声をあげる必要があると考えています。過去4回行った山梨がんフォーラムの発展とし、今回はより広い医療資源の連携を意識しています。がん対策基本法、がん対策推進計画、各医療圏に指定されるがん診療連携拠点病院の役割、そして身近な開業医の意識、患者等関係者の連携などいくつかのキーワードを視野に置き今回も山梨県のがん医療環境向上に向けたくさんの連携体制を築きたいと思っています。

がん治療を受けたとき、口腔ケアの重要性を思い知らされた経験者の訴えをもとに、山梨県のがん医療環境、ひいては医療環境全般の向上に向け、県内の4医療圏で活発な意見交換を行いたいと思っております。

つきましては皆様がたのご支援・ご協力をお願いしたく、ここに趣意書をお送りする次第です。本趣旨をおくみとりの上、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<開催趣旨>

- 1、 『がん治療と口腔ケアの関連』についての正しい情報を提供し向き合い方を考える機会とする。
- 2、 より多くの歯科医師にがん治療と口腔ケアの重要性を理解してもらう。
- 3、 より多くのがん治療医師にがん治療と歯科医との連携の重要性を理解してもらう。
- 4、 抗がん剤治療に際し、実際に口腔ケアの重要性を体験した患者の報告を共有する。
- 5、 山梨県で開業する歯科医の待合室に、がん治療と口腔ケアの関連を表現したポスターを展示し、その重要性を広く啓発する。
- 6、 山梨県のがん医療環境向上のため、七位一体の連携（患者・一般、行政府、立法府、企業、報道、医療関係者・機関、学問・教育関係機関の連携）をより強化する。
- 7、 地域間格差を起こさないため山梨県内の4医療圏で開催する。



<七位一体のがん対策>

2007年4月に施行されたがん対策基本法は、がん患者の声を反映して策定されました。がんフォーラム山梨は、この基本法の策定とともに活動を広げております。当事者の声を施策に活かし、がんであっても普通に、充実した人生をおくることのできる山梨県を目指し精一杯の努力を惜しみません。しかし、個々の力は微力すぎてなかなかかどりません。そこで、より多くの分野での関心が高まれば、より大きな力となって山梨力の底上げにつながります。患者を含めた一般県民、行政府、立法府、企業、医療関係者や医療機関、学識経験者や教育機関、報道。この七つの分野ががんの撲滅に向かって力をあわせたなら、きっと大きな展開になると信じています。

山梨県のがん対策は医療資源が豊富とは言えませんが、山梨県がん対策推進計画に基づき着々と施策を進めています。がん診療連携拠点病院も1施設増えました。日本で初めてがん予防対策として明言できる子宮頸がんの予防対策も充実した形で進んでいます。今後も歯科医師との連携などによるソフト面の充実を図り、患者や一般が必要とする正確な情報収集及び情報提供ができる医療環境の実現を目指したいと思っております。そして、必要な声をかたちにしていきたいと思っております。

私たちの声は、暮らしやすさ日本一を目指す山梨県にとって大きな財産となるはずです。

つきましては、本主旨をご理解いただきまして、是非ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

がんフォーラム山梨 代表 若尾 直子

《事務局》

〒400-0025
山梨県甲府市朝日 2-16-19
コミュニティーセンター 花水木内
がんフォーラム山梨 代表 若尾 直子
Tel/ fax : 055-252-7687
email : yamanashi_mamma@kjb.biglobe.ne.jp
(若尾携帯) 090-4023-4991



※ このプログラムは、公益財団法人正力厚生会からの助成を受けて開催いたします。また、甲府市歯科医師会、日本歯科医師会地域委員会副委員長武井啓一先生、矢島孝浩先生、山梨学院大学ビジネス学科今井久教授、県内各がん診療連携拠点病院の先生方等多くの方々の協力を得て企画しています。



第5回山梨がんフォーラム

～がんとお口はどんな関係？2011～

- 1、開催日 2011年8月28日(日)、9月11日(日)、9月25日(日)、10月16日(日)
- 2、場所 県内4か所(中北医療圏は最終日に山梨学院大学クリスタルタワーを予定)
- 3、タイトル 第5回山梨がんフォーラム
～がんとお口はどんな関係？2011～
- 4、内容
 - 基調講演：がんと口腔ケアの関係
演者：日本歯科医師会地域委員会副委員長 武井啓一氏他
座長：山梨学院大学教授 今井久氏
 - パネルディスカッション案
 - ・報告：私のがん治療と「虫歯は治しておいてね」
がんフォーラム山梨 患者
 - ・がん治療と口腔ケアの地域連携
山梨県内の専門家 調整中
 - ・がん治療医の立場から
山梨県内のがん治療医 調整中
- 5、主催 がんフォーラム山梨
- 6、協力 甲府市歯科医師会、山梨学院大学、山梨まんまくらぶ、北杜肝友会
- 7、後援 山梨県、山梨県歯科医師会、甲府市歯科医師会
山梨県医師会、甲府市医師会、山梨県看護協会、山梨県健康管理事業団、
日本赤十字社山梨県支部、NHK甲府放送局、山梨放送、テレビ山梨、
共同通信社甲府支局、毎日新聞甲府支局、朝日新聞社甲府総局、
山梨日日新聞社、読売新聞社甲府支局、山梨新報社、
NPO法人キャンサーネットジャパン、NPO法人山梨県ボランティア協会 予定
- 8、協賛 公益財団法人正力厚生会、社団法人甲府市歯科医師会、山梨県内企業、製薬会社各社予定
- 9、参加者 医療者を含めた広く一般
- 10、参加料 無料
- 11、広告媒体 新聞、テレビ、関係団体HP、各広報、関連雑誌
- 12、開催責任者 がんフォーラム山梨代表/ 若尾 直子